

サインバスケの つくりかた



特定非営利活動法人日本デフバスケットボール協会
ゼネラルマネージャー 須田将広

サインバスケのつくりかたの流れ





バスケ用語をサイン化



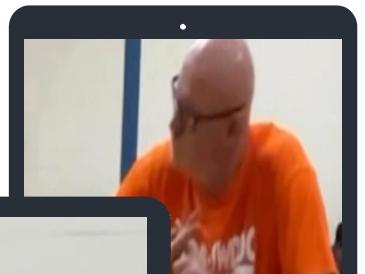
アメリカのサインバスケを流用するか、日本手話の特徴を活かして作る

2 リバウンド (REBOUND)



3

スクリーンアウト
(SCREEN OUT)



1

ピボット (PIVOT)



肩を動かすと視点がブレてドリブルも安定しない選手への指導例

- 両手で下図のような三角形を作り、頂点が額、底辺の両端が両肩を示す
- これだけで一発でイメージから入ることができ、表示時間の持続性も高い



練習でサインを使うために

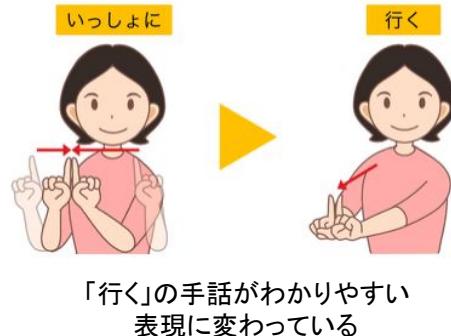


- チームでサインを使うためには何が必要か

- 適切な言語もしくは方法で周りと深い対話ができること
- 適切な言語もしくは方法で自分の意志を周りに瞬時に伝えられること
- 視覚的に情報を読み取る技術(例:手話で話すときは顔と手を同時に見て判断)

- オープンスキルの中にサインをどう入れるのか

- 目で見て判断する材料に、「手」「表情」「空間」を加える
- 3次元(音声)から4次元(+空間)へ





サインを使うための姿勢



- トリプル・スレットとドリブル・スレットの連結
 - トリプル・スレットはボールを両手で持ってしまう
 - ドリブル・スレットでシート、パスをいつでも出せるようにする
- パスは全てワンハンド(転がす意識から)
 - 持ってしまうとバスケが止まる(ピボットしかない状況)
 - ワンハンドならパスフェイクも身につきやすい
- 肩を動かさない
 - 肩がぶれると視野もぶれる
 - 両肩と眉間を3点で意識し柔らかく固定してドリブルすると、視野は確保しやすい



試合で使うサインの考え方(1)



- ・ サインは片手で表現するべき(ボールを扱う手との役割分担)
- ・ スクリーンプレイに対する対処法など、「Deafだから」ではのアイデア
- ・ バスケットボール競技の常識をひっくり返すアイデンティティ
- ・ コーチと選手の間の共通認識を取る(もしくは取れたと確信する)方法

試合(現場)で、サインの実用性を高める



試合で使うサインの考え方(2)



- ・ 単発で終わるサイン(特定の者へのサイン等)もあるが、それを目的もなる下手に繰り返すと混乱することになりかねない。
- ・ 「あるサインがトリガとなり、チーム全体が連動していく」を目指す。
- ・ 例として「強くて早い速攻は、良いスクリーンアウトから生まれる」というサインを作ることで、一瞬でチーム全員が共通理解できる

これこそが、聴者にはない「デフのアイデンティティ」となるべきもので、社会に応援してもらえるものに昇華すべきである。



試合で使うサインの考え方(3)



適当にサインを作っても、中身がないスカスカの紛い物の戦術になってしまいます。

後に続きませんし、勝てませんし、なにより社会に応援してもらえません。

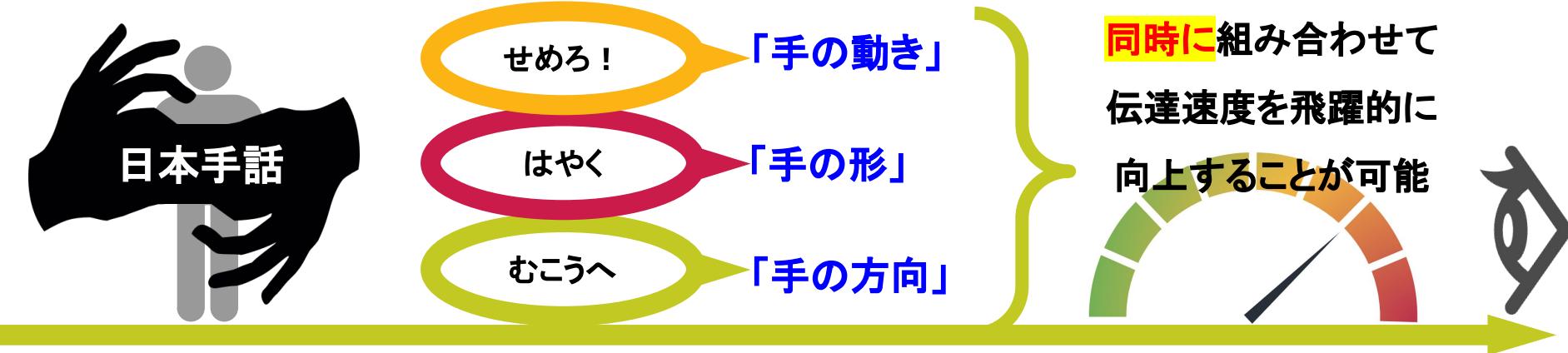
しっかり日本手話の特性を捉えつつ、ワンアクションで一瞬で全員が共通認識でき、最後まで連動できるものであるべきです。



インバスケットボール
を作るのに、どうして日本手話がいいのか？



日本手話で視覚的な伝達速度を向上させる





サインバスケを構成する3つの表現手法

語彙



Classifier(CL)手法

CL

ロールシフト

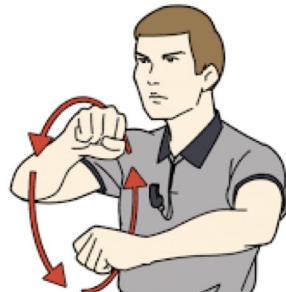
RS





一般的には、なにがしらの本に載っている唯一の言葉を指す

ここでは、一般的なバスケットボール競技の用語を手話に変換したもの
語彙であり、ファール、バイオレーションなどのジェスチャーも含む
→ バスケの知識がない人でもすぐにイメージが沸く表現手法をつくる



一般的なバスケットボール用語のジャスチャー例

知らない人が見ると「なんで手をまわしているの？」



- トランジション

- バイオレーションとしてのジェスチャーは？
- サインバスケの表現方法の案

- ゼロステップ

- 日本語で説明すると？
- サインバスケの表現方法の案

注意！！

従来のジェスチャーを否定しているのではなく、バスケ素人のろう者ならではの表現方法として「こんな感じで表現するのもあり」と出してみました

■ 一羽、一房、一枚、一本、一台、一杯、一頭、一冊、一尾…

見て、すぐにイメージが沸く表現手法に、

形状、大小、軽重、強弱、材質などの特徴を写像的に表すこと

■ 指だけで表せる世界と「3つの目」

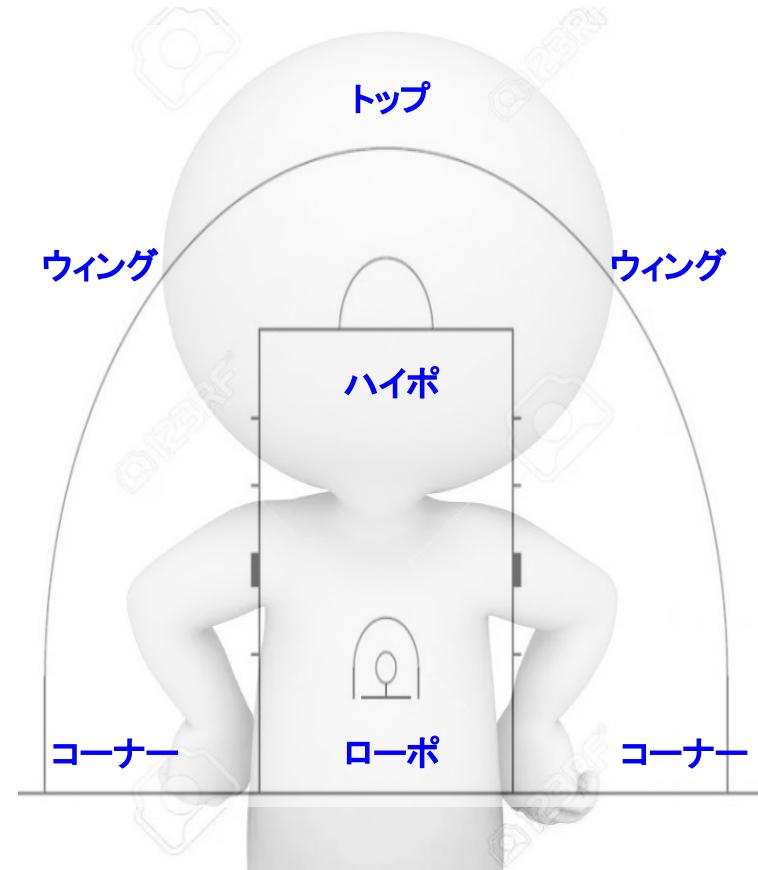
- ・あいさつの手話の形状
- ・「会う」と「追う」
- ・上から見る「鳥の目」

時間の迫った試合で、どう活かすのか？



Classifier(CL)手法によるコート表現

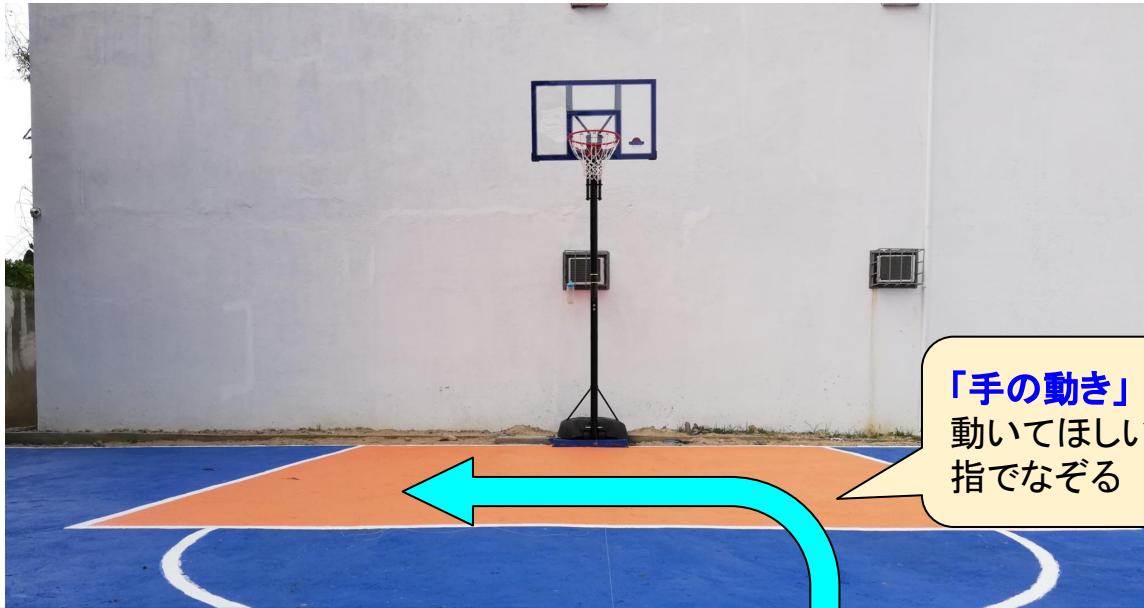
CL



<https://youtu.be/pkaRJMLzjTo>

Classifier(CL)手法によるコート表現

CL



「手の位置」

低めに位置すればバウンドパス、
高めに位置すれば、ロブパスなどの
意味を付加できる

「手の動き」
動いてほしい軌跡を
指でなぞる



「手の型」

「走る」「パス」「カット」などの意味を付
加できる

■ 「自分」と「相手」と「第三者」の切り替わりを下のわざで表現する

- ・首(上下左右)
- ・表情
- ・動作
- ・オウム返し

【表現例】

アイス食べたい **子供** と **親** のやりとり
どう見えたかな？

■ 状況をはっきりすること、他者への切り替えの明確化

- ・今、どんな状況？
- ・今、だれがいるの？

探求中！

チームの戦術、チームの約束を踏まえたチーム練習で役に立つ

ロールシフトを使って説明

RS



スクリーンプレー



この状況を、一人で
表現してください



サインバスケのブランディング戦略



様々なシーンのサインバスケを動画にして、広報ツールに仕上げていく
そのままナレッジ化につながるようにする



Instagram (SNS)

[sign_basketball](#)

[jdba_office](#)

YouTube

<https://www.youtube.com/>

[@signbasketball](#)